

冷凍サケの輸出



1. はじめに

サケといえば北海道で採れる魚の代表格で、毎年秋になるとおいしいサケが食卓に上り、私たちの味覚を楽しませてくれます。焼きたての切り身なんかがあると、最高ですよ。そのサケがここ数年、海外に多く輸出されており、昨年は1996年に冷凍太平洋さけ（オンコルヒュンクス属の一部のみ）として輸出統計をとり始めて以来、輸出量、輸出額ともに最高を記録しました。しかも、今年に入ってからその勢いは衰えず、こんなにサケを食べるのが日本人だけじゃないの??というわけで、今回は冷凍サケ（輸出統計品目表番号0303.11-000～0303.19-000）の輸出を特集してみました。

2. サケの種類

この特集で取り上げる冷凍サケは、輸出統計品目表番号0303.11-000と0303.19-000に分類されるものですが、そこには「太平洋さけ（オンコルヒュンクス・ネルカ、オンコルヒュンクス・ゴルブスカ、オンコルヒュンクス・ケタ、オンコルヒュンクス・トスカウイトスカ、オンコルヒュンクス・キストク、オンコルヒュンクス・マソウ及びオンコルヒュンクス・ロデュルス。肝臓、卵及びしらこを除く）」と記載されています。学名で書かれているため大変わかりにくいのですが、ここには私たちにもおなじみのペニザケ、カラフトマス、シロザケ、キングサーモン、ギンザケなどが含まれます。

そのうち北海道で採れるのはほとんどがシロザケで、北海道で「サケ」といえば一般的にこのシロザケを指すことが多いそうです。秋に産卵のため故郷の川に戻ってくる「アキサケ」や「アキアジ」、春から夏にかけて採れる「トキシラズ」も種類としてはシロザケです。実際に輸出されているのも、ほとんどがこのシロザケだそうです。

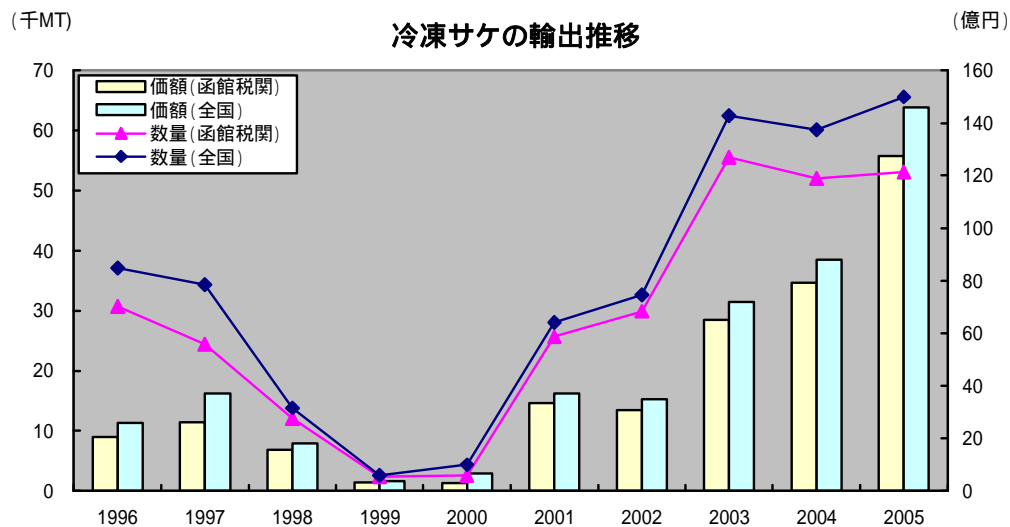
（注） 冷凍サケの輸出統計品目表番号は今まで何度か変更されており、1995年までは「0303.10-000 太平洋さけ（オンコルヒュンクス属のもの。肝臓、卵及びしらこを除く）」となっていたが、1996年に品目表番号は変わらずにそこに含まれる魚の種類だけが上記のものに限定され、オンコルヒュンクス・ミクス（ニジマス）等が輸出品目分類上の「太平洋さけ」から除外されるこ

とになりました。

その後、2002年に太平洋さけは「0303.11-000 ベにざけ（オンコルヒュンクス・ネルカ）」と「0303.19-000 その他のもの」に分けられ、現在もそのままになっています。よって、この特集で使用しているデータは1996年から2001年までは輸出統計品目表番号0303.10-000のもの、2002年以降は輸出統計品目表番号0303.11-000と0303.19-000を合計したものとなっています。

3. 輸出の傾向

下のグラフは1996年から2005年の冷凍サケの輸出量と輸出額を表したものです。



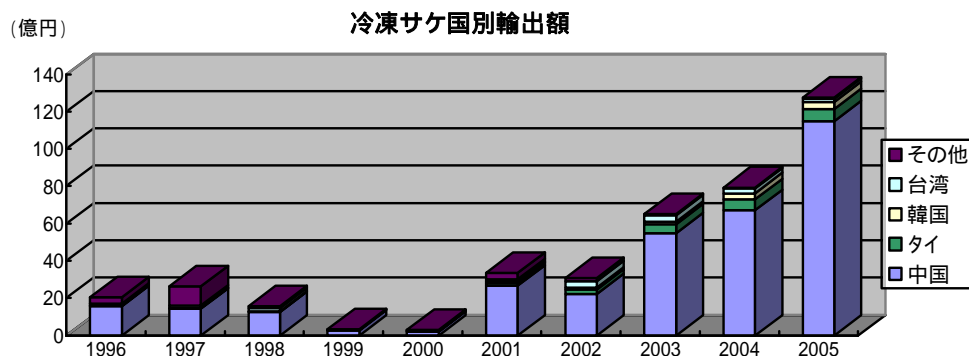
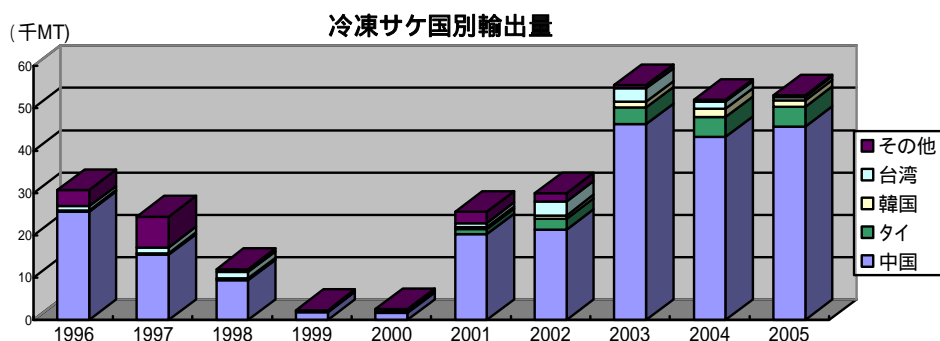
輸出量を見てみると1996年には日本全国で37,056トンが輸出されましたが、このとき函館税関管内から輸出されたのは30,719トンと全国の82.9%でした。その後、1998年から2000年にかけて全国的に輸出が減少したものの、2001年からはおおむね順調に輸出量を伸ばし続け、昨年は全国で65,589トンと1996年の1.8倍にもなりました。そのうち函館税関管内からの輸出は53,044トンで全国に占める割合は80.9%でしたが、グラフでもわかる通り、常に高いシェアを維持し続けています。

一方、輸出額も数量同様1998年から2000年にかけて減少したものの、それ以降はほぼ順調に増え続け、昨年は全国で145億9千万円と1996年の25億8千万円に比べると5.7倍にもなり、2004年の88億円と比較しても1.7倍に増加しています。函館税関管内でも昨年は127億4千万円であり、1996年の20億5千万円に比べると6.2倍、2004年の79億3千万円と比べても1.6倍となっています。この昨年の輸出額は全国の87.3%を占めており、冷凍サケは量、価額ともに函館税管内からの輸出が全国のほとんどを占めていることがわかります。

ここで、昨年の函館税関管内からの輸出量、輸出額の前年比に注目してみると、数量が 102.0%であるのに対し、価額は 160.7%となっています。数量の伸びの割には価額の増加が大きいように感じられますが、これについてはここ数年海外での恒常的な需要により輸出が増加していることが、日本のサケの価格自体を押し上げる要因の1つになっているようです。特に最近是国内だけではなく海外の動向もサケの価格に大きな影響を与えるようになってきているということがいえそうです。

4 . 輸出仕向国

1996 年以後、函館税関管内からの冷凍サケの輸出先は、以下のようになっています。



輸出先の国としては、1996 年から数量、価額共に一貫して中国が大部分を占め、最近タイや韓国も少しずつ増えてきています。昨年は中国向けが 45,686 トン 114 億 7 千万円と全体のほぼ 90%を占め、その後タイ、韓国、台湾と続いています。

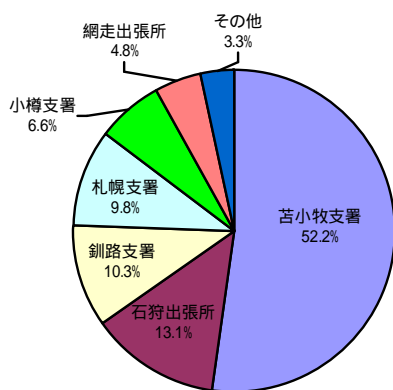
このように冷凍サケのほとんどが中国に輸出されていますが、中国の人たちも北海道の秋の味覚を楽しんでいるのかと思ったら、どうやらそうではないようです。中国へ輸出されたサケは実はその後加工され、更に欧米諸国に運ばれているそうです。欧

米では最近健康ブームやナチュラル志向で、日本の天然もののサケが人気だということです。

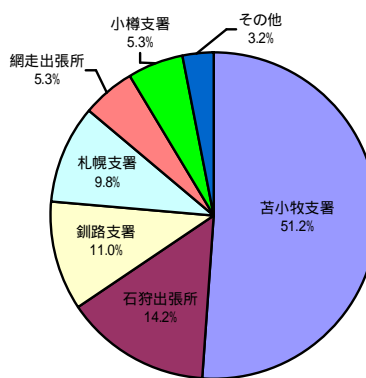
4 . 官署別実績

昨年の函館税関管内からの輸出を官署別に見ると、内訳は以下のようになっています。

冷凍サケ官署別内訳(数量)



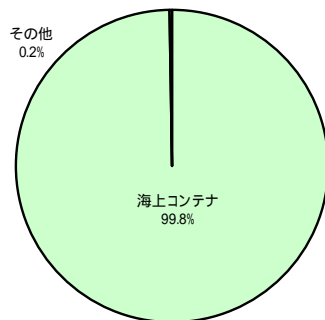
冷凍サケ官署別内訳(価額)



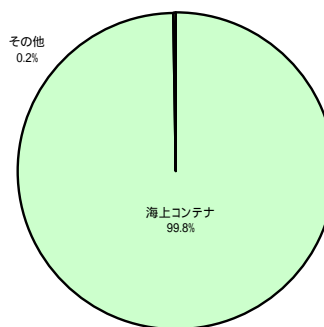
数量ベース、価額ベース共に苫小牧支署が 27,666 トン 65 億 3 千万円と 50%以上を占め、続いて石狩出張所が 6,951 トン 18 億 1 千万円で第 2 位、釧路支署が 5,463 トン 14 億円で第 3 位となっています。この他に札幌支署、網走出張所、小樽支署でも通関されています。

北海道でサケが多く水揚げされる場所としては、道東やオホーツク海側のイメージがありますが、そのあたりでの通関はあまり多くないようです。そこで、同じく昨年の函館税関管内からの輸出を輸送形態別にみると、次のようになります。

輸送形態別内訳(数量)



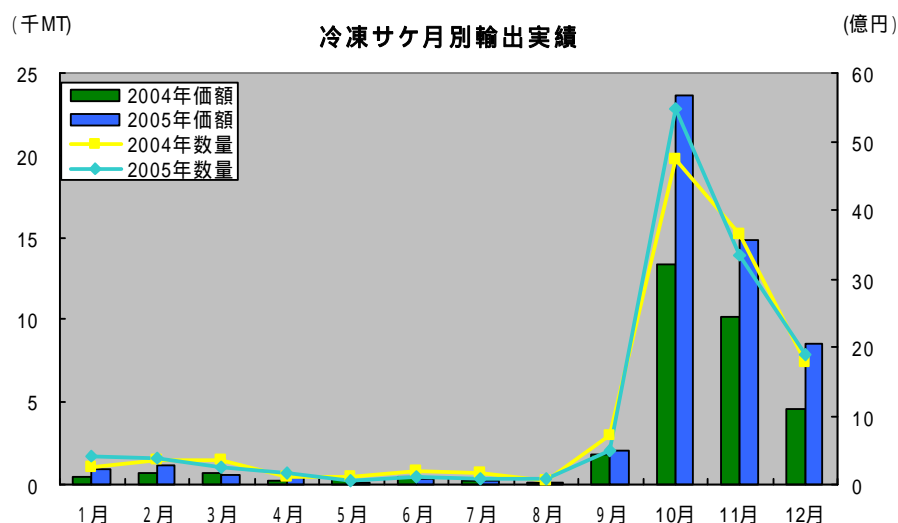
輸送形態別内訳(価額)



このように海上コンテナによる輸出がほぼ 100%といていい程の割合を占めています。昨年は航空貨物としての通関はなく、100%が海上貨物としての輸出でした。そのうち 99.8%がコンテナ、0.2%だけがバラ積みです。この点を考慮すると、北海道で水揚げされたサケは、外国とのコンテナ定期航路をもつ苫小牧港、石狩湾港、釧路港、小樽港などを管轄する官署やその近隣の官署で通関されるケースが多いといえそうです。

5 . 月別輸出実績

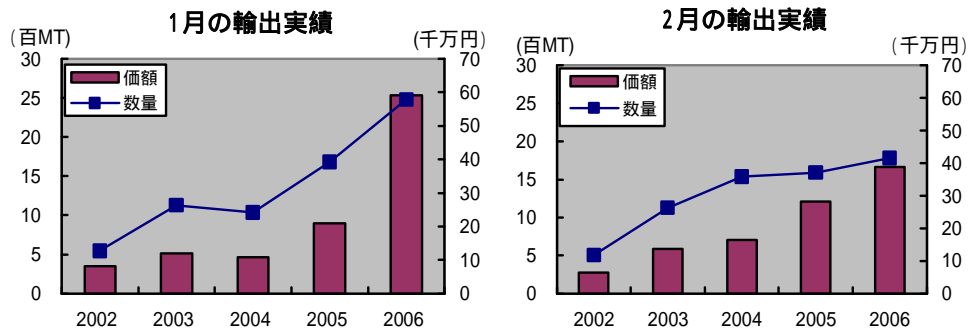
サケがおいしい季節といえば何といても秋ですが、2004年と2005年の輸出実績を月別に表すと以下ようになります。



やはり輸出もサケが川に戻ってくる秋に集中しており、冬から夏にかけては非常に少なくなっていますが、秋になると一気に増加し10月にピークを迎え、その後少しずつ減少していています。この傾向はどの年でもおおむね変わらないようです。

昨年はピークとなる10月の輸出が特に多く、22,805トン、56億7千万円と1年分の実績のうち数量で43.0%、価額で44.5%が10月に集中しています。これは前年の10月に比べると、3,044トン、24億7千万円もの増加です。最初に述べた通り、昨年は冷凍サケの輸出が過去最高を記録しましたが、それには10月の伸びが特に貢献していたようです。

秋にほとんどの実績が集中するサケの輸出は、今までは上のグラフでもわかる通り年が明けると数量、価額共に激減していましたが、ここ5年間の1月と2月の実績だけをグラフで比較してみると、次のようになります。



今年1月に入っても2,482トン、5億9千万円と数量では昨年に比べて47.5%も増加し、価額では2.8倍にもなっています。これは昨年の9月を上回る実績で、1月としてはかなり好調です。昨年過去最高となった輸出の勢いは年が明けても衰えず、といったところでしょうか。2月になると1,781トン、3億9千万円と前年同期比で数量が112.1%、価額が137.1%と前年に比べると数量はやや多い程度の増加に落ち着いていますが、それでも価額は37.1%も増加しています。今年の最初の2ヵ月間は前年の好調な輸出の影響がまだ強く残っていたといえそうです。

6. 今後の見通し

サケの稚魚は海へ出てから、大きくなって故郷の川に帰ってくるまで、4～5年かかるそうです。サケの輸出量はもちろんその年の漁獲量に大きく左右されますが、中国での恒常的な需要を考えると、今後も好調に推移していくのではないかと思います。今年の春、たくさんのサケの稚魚たちが川から海へ向かったことと思いますが、今年の秋も4～5年前には日本の川から海に旅立つ小さな稚魚だったサケたちが、立派に成長してたくさん帰ってくることを期待しましょう。

この資料に関するお問い合わせ、貿易統計資料の閲覧先

函館税関 調査保税部 調査統計課 TEL 0138-40-4282

FAX 0138-40-4708

*なお、本資料は函館税関ホームページでもご覧になれます。

<http://www.hakodate-customs.go.jp/>

本資料を転載する際は、必ず函館税関の資料による旨を注記してください。



冷凍サケ輸出のデータ集

* 2005年以前のデータは確定値、2006年のデータは確報値です。

1. 輸出推移

函館税関

	数量 (kg)	前年比	価額 (千円)	前年比
1996	30,718,796	174.9%	2,046,538	169.8%
1997	24,428,506	79.5%	2,624,505	128.2%
1998	12,084,431	49.5%	1,565,904	59.7%
1999	2,352,999	19.5%	328,801	21.0%
2000	2,565,997	109.1%	313,232	95.3%
2001	25,630,883	998.9%	3,342,331	1,067.0%
2002	29,918,906	116.7%	3,079,251	92.1%
2003	55,521,861	185.6%	6,513,776	211.5%
2004	51,998,046	93.7%	7,927,819	121.7%
2005	53,043,787	102.0%	12,736,722	160.7%

全国

	数量 (kg)	前年比	価額 (千円)	前年比
1996	37,056,043	194.4%	2,580,476	191.1%
1997	34,330,256	92.6%	3,699,135	143.4%
1998	13,804,993	40.2%	1,824,925	49.3%
1999	2,546,813	18.4%	374,621	20.5%
2000	4,362,646	171.3%	674,889	180.2%
2001	28,076,495	643.6%	3,712,380	550.1%
2002	32,671,344	116.4%	3,476,980	93.7%
2003	62,507,631	191.3%	7,189,780	206.8%
2004	60,062,777	96.1%	8,804,329	122.5%
2005	65,588,548	109.2%	14,592,844	165.7%

2. 函館税関仕向国別輸出推移

数量 (kg)

	中国	タイ	韓国	台湾	その他	合計
1996	25,629,887	111,049	139,620	980,297	3,857,943	30,718,796
1997	15,418,204	380,290	48,000	1,333,980	7,248,032	24,428,506
1998	9,470,812	257,000	179,515	1,453,355	723,749	12,084,431
1999	1,882,676	37,605	133,425	108,956	190,337	2,352,999
2000	1,672,424	22,000	234,453	274,000	363,120	2,565,997
2001	20,327,633	1,161,120	447,430	1,002,051	2,692,649	25,630,883
2002	21,412,451	2,574,181	789,246	3,205,326	1,937,702	29,918,906
2003	46,231,642	4,082,049	1,346,992	3,049,686	811,492	55,521,861
2004	43,257,757	4,665,362	2,011,599	1,718,166	345,162	51,998,046
2005	45,686,179	4,700,346	1,513,330	837,930	306,002	53,043,787

価額 (千円)

	中国	タイ	韓国	台湾	その他	合計
1996	1,575,619	14,921	13,494	96,684	345,820	2,046,538
1997	1,413,381	50,464	3,786	127,679	1,029,195	2,624,505
1998	1,236,226	24,204	35,636	161,838	108,000	1,565,904
1999	257,945	5,244	23,547	14,833	27,232	328,801
2000	210,612	3,474	21,488	30,903	46,755	313,232
2001	2,656,133	144,387	80,297	123,546	337,968	3,342,331
2002	2,224,399	244,980	84,387	353,051	172,434	3,079,251
2003	5,483,640	466,373	138,035	346,075	79,653	6,513,776
2004	6,724,424	586,492	310,867	257,812	48,224	7,927,819
2005	11,469,168	656,973	378,809	195,786	35,986	12,736,722

3 . 函館税関官署別輸出実績 (2005 年)

	数量 (kg)	前年比	構成比	価額(千円)	前年比	構成比
函館税関(本関)	1,038,365	63.8%	2.0%	268,678	152.9%	2.1%
札幌税関支署	5,181,598	106.7%	9.8%	1,243,675	155.5%	9.8%
小樽税関支署	3,499,695	70.1%	6.6%	678,875	93.1%	5.3%
石狩出張所	6,951,108	125.1%	13.1%	1,806,028	225.7%	14.2%
釧路税関支署	5,462,805	139.5%	10.3%	1,395,315	217.2%	11.0%
網走出張所	2,550,000	180.9%	4.8%	681,039	282.2%	5.3%
紋別出張所	6,000	全 増	0.0%	300	全 増	0.0%
留萌税関支署	132,453	176.6%	0.2%	10,596	121.0%	0.1%
苫小牧税関支署	27,666,011	96.2%	52.2%	6,526,025	146.7%	51.2%
稚内税関支署	25,002	28.7%	0.0%	3,430	29.1%	0.0%
八戸税関支署	480,750	83.0%	0.9%	108,819	204.1%	0.9%
秋田船川税関支署	50,000	全 増	0.1%	13,942	全 増	0.1%
合 計	53,043,787	102.0%	100.0%	12,736,722	160.7%	100.0%

4 . 函館税関輸送形態別輸出実績 (2005 年)

	数量 (kg)	構成比	価額 (千円)	構成比
海上コンテナ	52,954,675	99.8%	12,717,375	99.8%
航 空	-	-	-	-
そ の 他	89,112	0.2%	19,347	0.2%
合 計	53,043,787	100.0%	12,736,722	100.0%

5 . 函館税関月別輸出推移

2 0 0 4 年

	数量 (kg)	前年同期比	価額(千円)	前年同期比
1 月	1,035,583	91.8%	107,681	89.5%
2 月	1,536,420	136.0%	164,918	120.4%
3 月	1,481,466	63.5%	162,501	54.1%
4 月	429,716	39.2%	50,720	35.7%
5 月	461,922	148.5%	68,845	169.0%
6 月	821,054	142.9%	105,663	146.4%
7 月	648,170	639.0%	65,285	314.6%
8 月	232,036	209.0%	22,462	192.1%
9 月	2,984,351	95.6%	446,439	118.0%
10 月	19,761,133	122.5%	3,200,264	169.8%
11 月	15,138,804	82.6%	2,431,002	112.9%
12 月	7,467,391	67.0%	1,102,039	88.0%
合 計	51,998,046	93.7%	7,927,819	121.7%

2 0 0 5 年

	数量 (kg)	前年同期比	価額(千円)	前年同期比
1 月	1,682,565	162.5%	210,286	195.3%
2 月	1,589,186	103.4%	282,598	171.4%
3 月	1,048,207	70.8%	149,140	91.8%
4 月	702,334	163.4%	104,065	205.2%
5 月	230,220	49.8%	39,869	57.9%
6 月	473,360	57.7%	73,219	69.3%
7 月	343,965	53.1%	59,252	90.8%
8 月	293,145	126.3%	37,130	165.3%
9 月	2,061,510	69.1%	496,492	111.2%
10 月	22,804,691	115.4%	5,673,521	177.3%
11 月	13,957,275	92.2%	3,554,070	146.2%
12 月	7,857,329	105.2%	2,057,080	186.7%
合 計	53,043,787	102.0%	12,736,722	160.7%

1月

	数量 (kg)	前年同期比	価額(千円)	前年同期比
2002年1月	540,482	1,498.5%	81,235	2,506.5%
2003年1月	1,127,858	208.7%	120,366	148.2%
2004年1月	1,035,583	91.8%	107,681	89.5%
2005年1月	1,682,565	162.5%	210,286	195.3%
2006年1月	2,482,233	147.5%	590,206	280.7%

2月

	数量 (kg)	前年同期比	価額(千円)	前年同期比
2002年2月	502,456	264.1%	63,538	319.0%
2003年2月	1,129,729	224.8%	136,936	215.5%
2004年2月	1,536,420	136.0%	164,918	120.4%
2005年2月	1,589,186	103.4%	282,598	171.4%
2006年2月	1,780,855	112.1%	387,525	137.1%